

# 国産大豆の需要の高まり



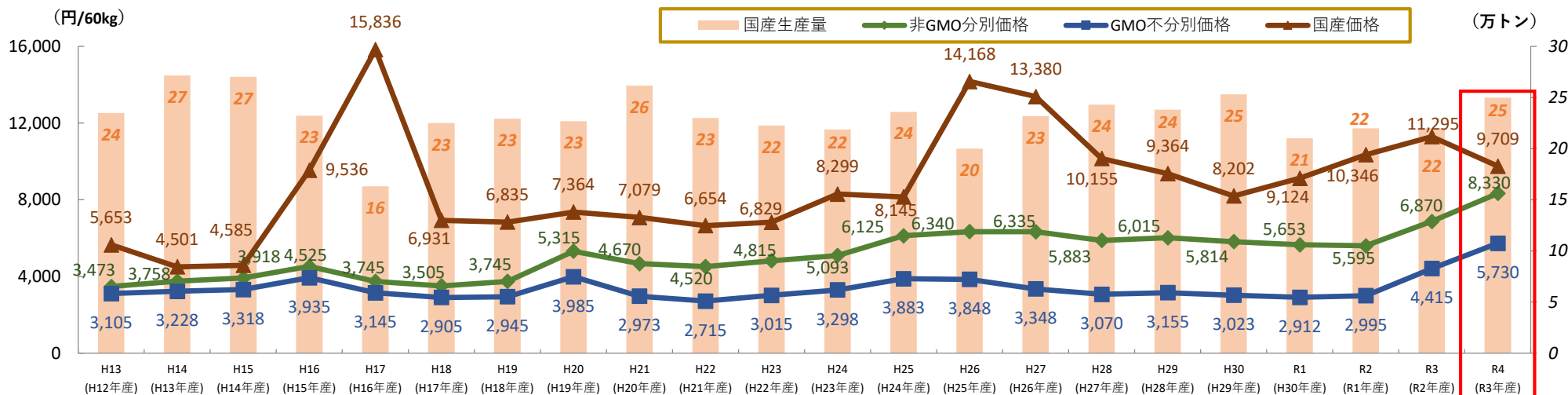
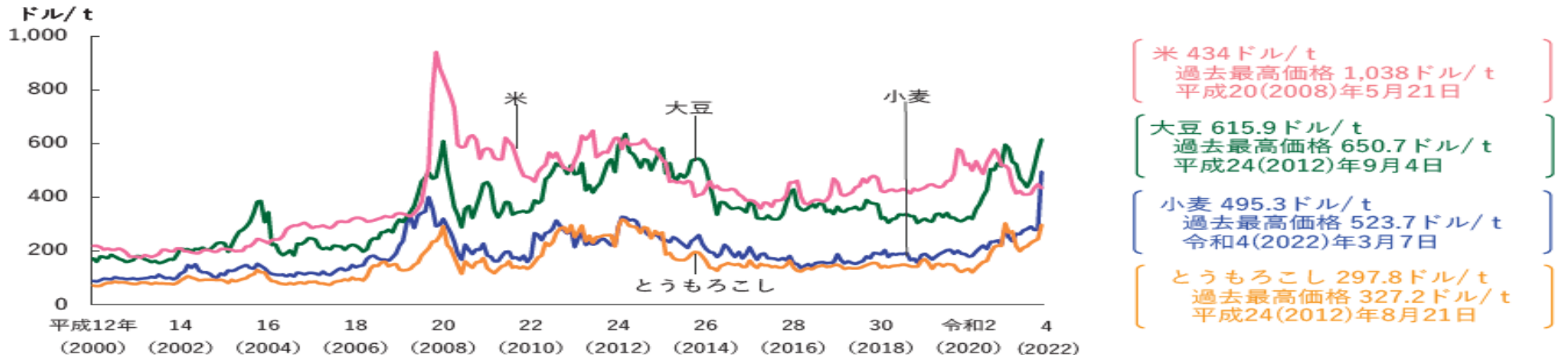
令和 4 年 8 月

北陸農政局生産部生産振興課

# 1. 世界の大豆の相場動向

- ロシア・ウクライナ情勢や中国の輸入需要の増加等を背景に安定供給に対するリスクが顕在化しており、輸入依存穀物の増産について、早急な対応が必要。
- 大豆の安定供給のためには、国産の生産・需要を早急かつ強力に拡大する必要がある。

## ○ 穀物等の国際価格及び国産大豆の生産量と価格の推移



注1. 非GMO分別及びGMO分別は、日経市中相場で暦年による平均価格(税抜)。  
 注2. 国産価格は、(公財)日本特産農産物協会における入札結果で各年産の平均落札価格(税抜)。

## 2. 大豆の需要動向（全国）

- 今後の食用大豆需要見込みについて実需者にアンケートを実施した結果、全ての業界を通じて、今後の5年間の大豆使用量は増加見込み。
- 国産大豆についても、価格、供給量、品質の安定が前提となるものの、消費者ニーズへの対応や高付加価値化に向け、需要が堅調となる見込み。

- 食用大豆の需要見込みについて

	R2年度実績数量 (千トン)		R3年度 需要見込み		R4年度 需要見込み		R8年度 需要見込み	
		うち国産		うち国産		うち国産		うち国産
<b>全 体</b>	<b>1,053</b>	<b>211</b>	<b>102%</b>	<b>103%</b>	<b>104%</b>	<b>106%</b>	<b>114%</b>	<b>126%</b>
豆腐・豆乳			101%	103%	104%	104%	118%	129%
納 豆			103%	103%	103%	104%	103%	104%
煮 豆			102%	102%	101%	103%	102%	105%
味 噌			100%	102%	101%	102%	102%	104%
醬 油			100%	108%	109%	104%	112%	106%
そ の 他			100%	101%	105%	102%	109%	107%

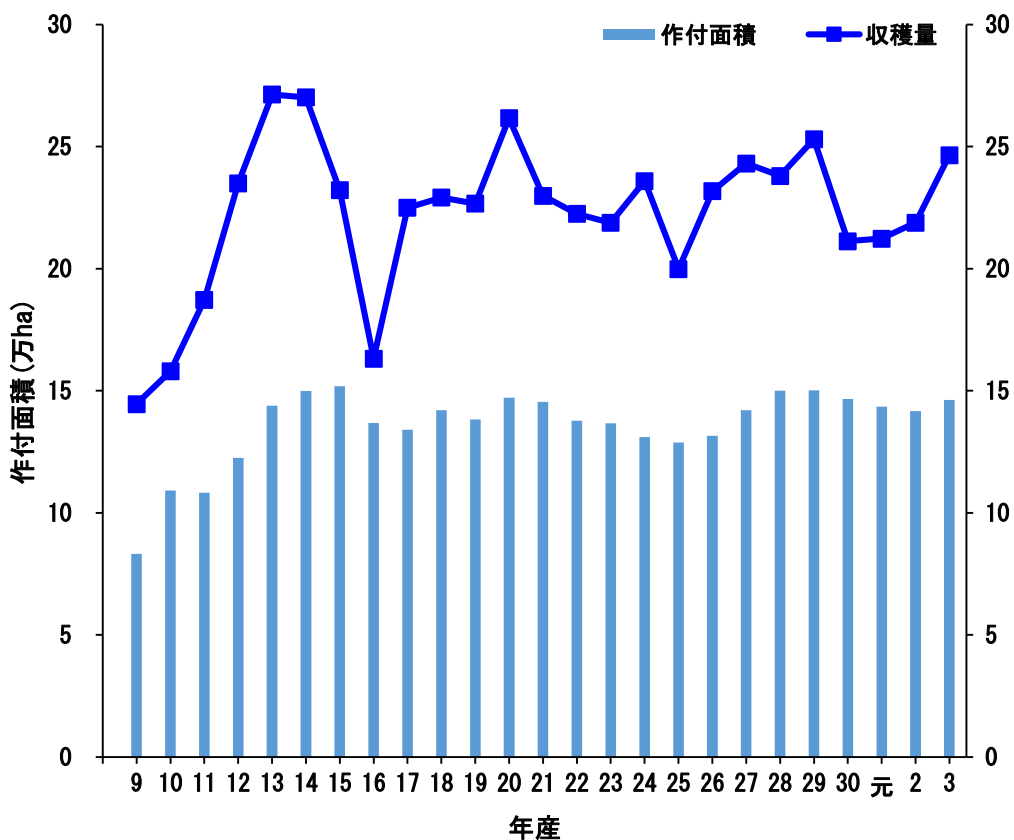
※ R2年実績数量は「食料需給表」を基に、穀物課推計。

※ R3年以降の需要見込みは各業界団体からのアンケート結果（豆腐、豆乳、納豆、煮豆、味噌、醤油、きなこ：n=107）を基に、穀物課推計。なお、需要見込みについては、R2年の実需者実績を基準とした比率を示す。

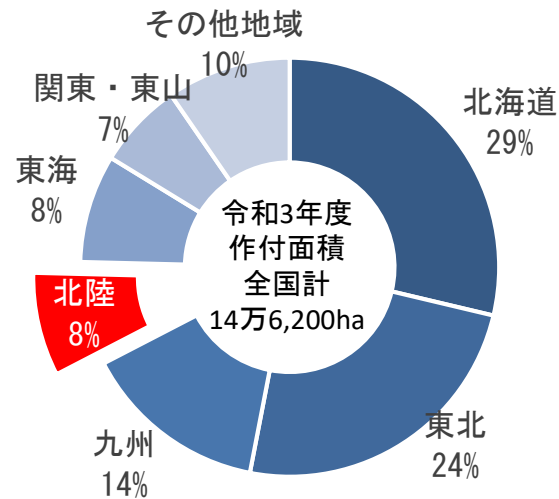
### 3. 大豆の作付動向と収穫量（全国）

- 全国における令和3年産の作付面積は146,200haであり、前年産に比べ4,500ha増加。また、収穫量は246,500tであり、前年産に比べ27,600t増加。
- 北陸地域における令和3年産の作付面積は11,700haであり、全国の約8%を担っている。

◆大豆の作付面積と収穫量の推移(全国)



◆令和3年産の大豆作付面積（地域別割合）



◆令和3年産の大豆作付面積(上位5県及び北陸地域)

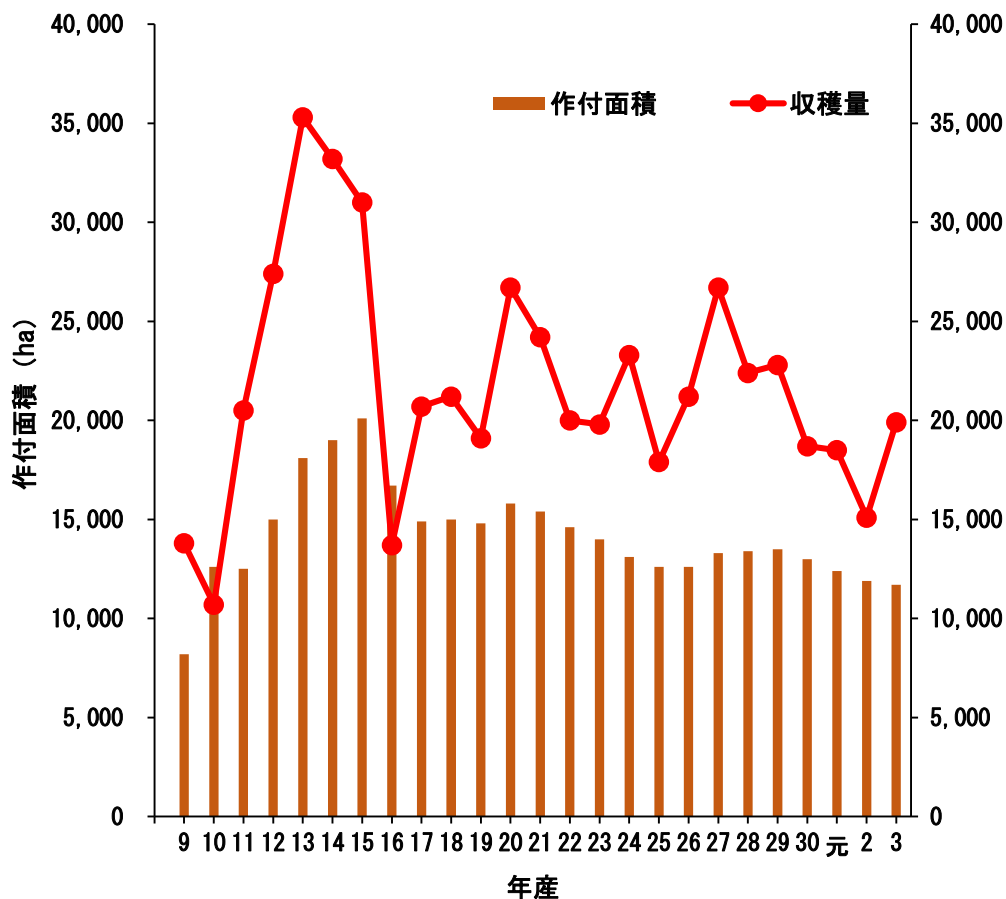
(単位: ha)

順位	都道府県	作付面積
1	北海道	42,000
2	宮城	11,000
3	秋田	8,820
4	福岡	8,190
5	佐賀	7,850
⋮	⋮	⋮
12	富山	4,250
13	新潟	4,090
⋮	⋮	⋮
20	福井	1,740
21	石川	1,620

## 4. 大豆の作付動向と収穫量（北陸地域）

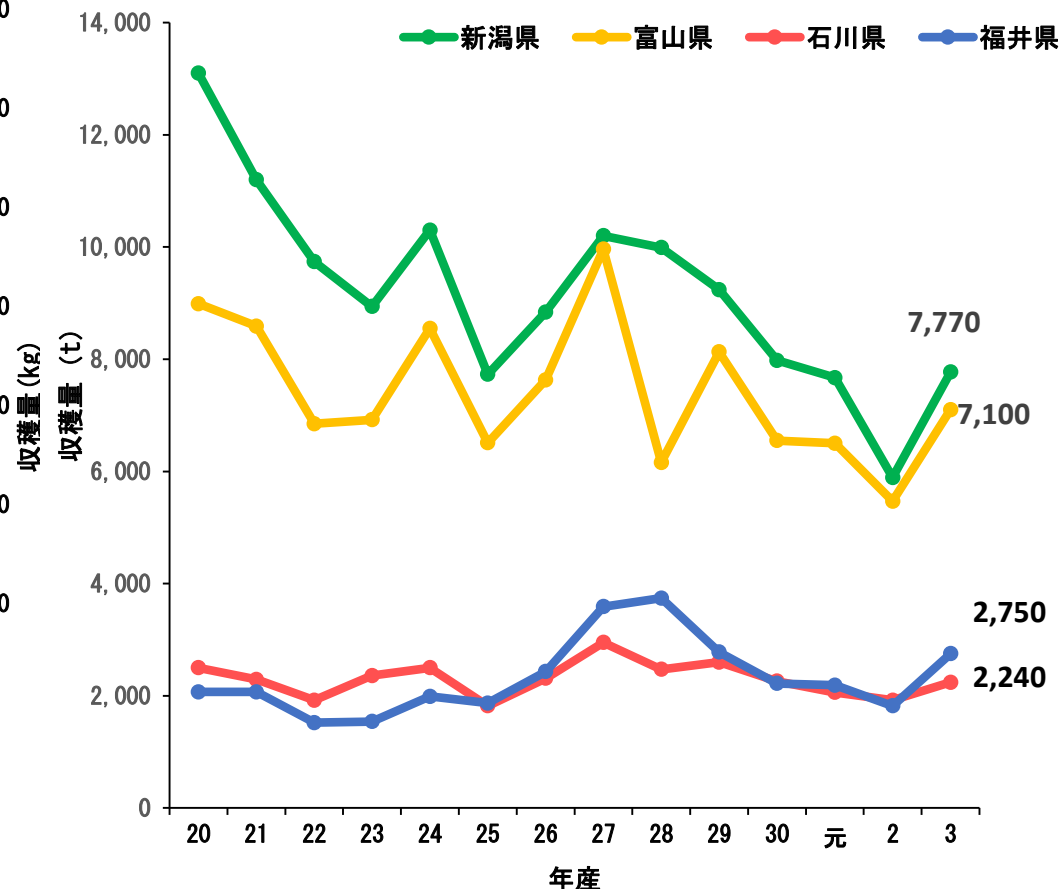
- 北陸地域における令和3年産の作付面積は11,700ha（新潟県4,090ha、富山県4,250ha、石川県1,620ha、福井県1,740ha）であり、前年産に比べ200ha減少。
- 収穫量は、気象条件等の影響により年次変動が大きく不安定な状況。北陸地域における令和3年産の収穫量は19,900t（新潟県7,770t、富山県7,100t、石川県2,240t、福井県2,750t）であり前年産に比べ4,800t増加。

◆大豆作付面積と収穫量の推移（北陸地域）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

◆大豆収穫量の推移（北陸地域）

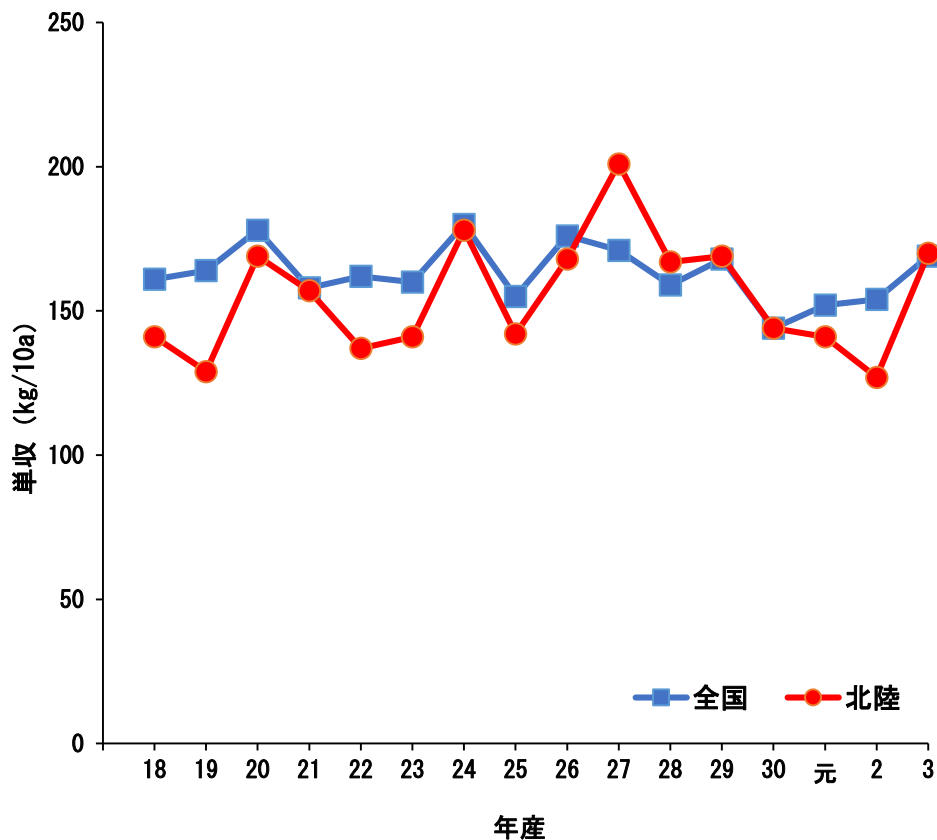


資料：農林水産省統計部「作物統計」

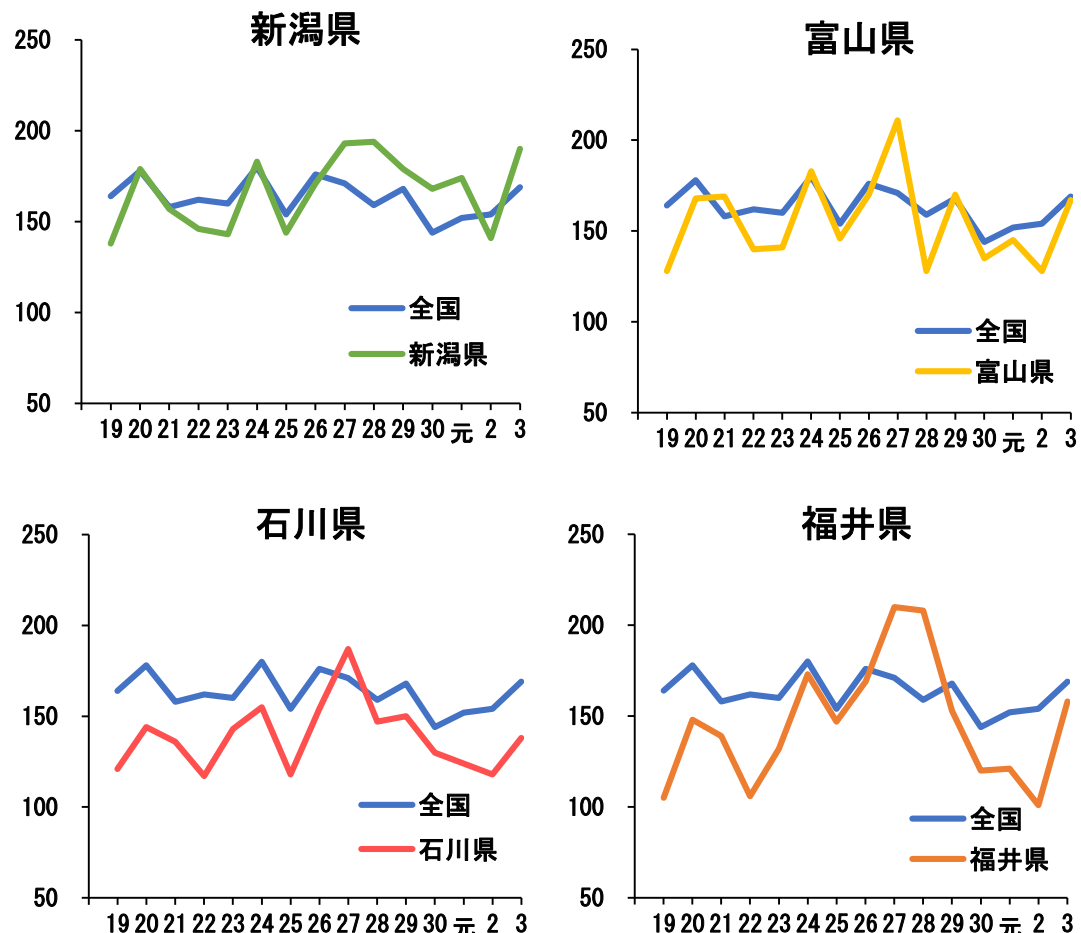
## 5. 大豆の10a当たり収量（北陸地域）

- 「食料・農業・農村基本計画」における大豆の生産努力目標は34万tであり、目標の達成には、単収の上昇が必要であるが、北陸地域では気象条件等の影響により、年次変動が大きく不安定な状況。
- 北陸地域における令和3年産の単収は170kg/10a(新潟県190kg/10a、富山県167kg/10a、石川県138kg/10a、福井県158kg/10a)であり、前年産に比べ34%増加。全国の単収は169kg/10aであり、前年産に比べ10%増加。

◆ 大豆の単収の推移（全国及び北陸地域）



◆ 大豆の単収の推移（北陸地域）



資料：農林水産省「作物統計」

資料：農林水産省「作物統計」

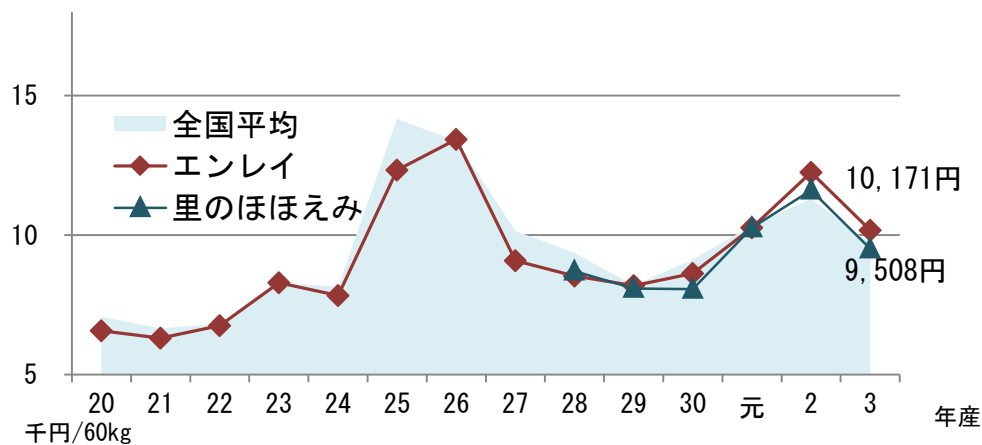
## 6. 大豆の入札取引価格の動向（北陸地域）

○ 北陸地域における令和3年産の主要な大豆品種の落札平均価格は9,170～10,200円/60kgであり、令和2年産に比べ1,586～3,494円/60kg減少。なお、平成25、26年産は台風の被害等により生産量が減少し、価格は急上昇している。

### ◆大豆の落札平均価格（全国及び北陸地域）

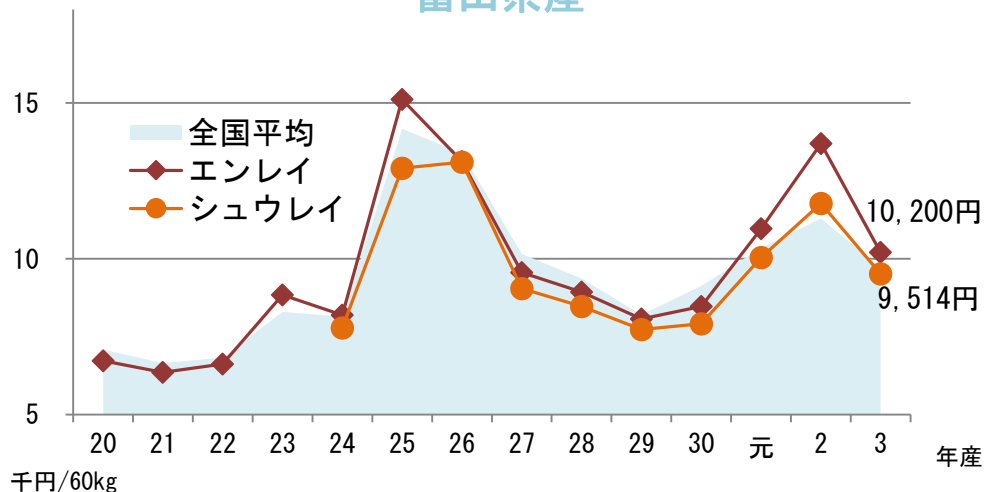
千円/60kg

#### 新潟県産



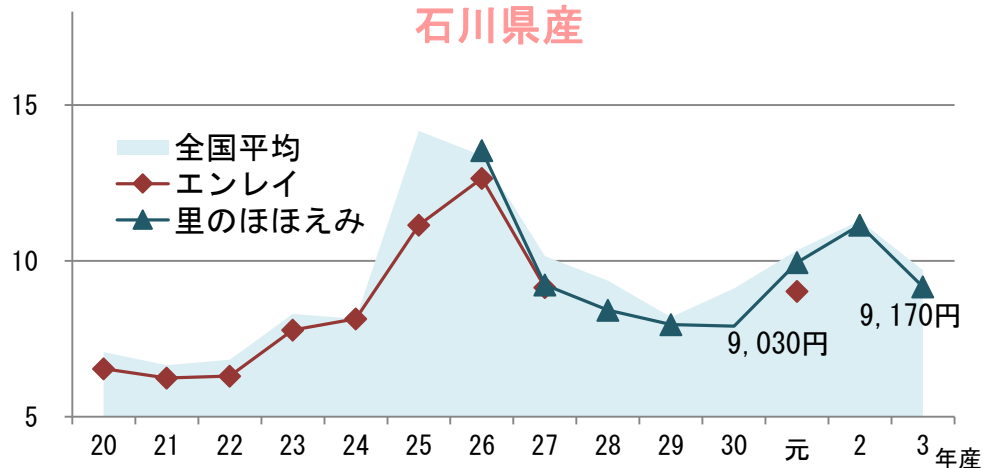
千円/60kg

#### 富山県産



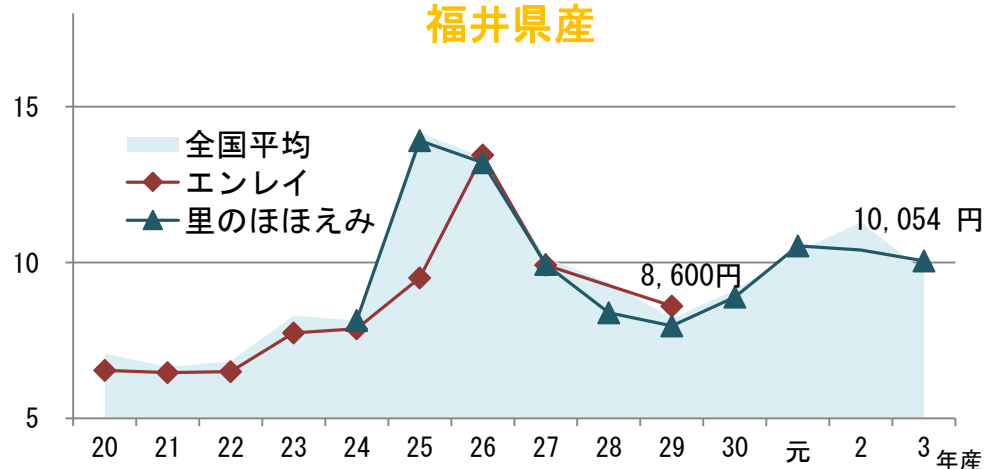
千円/60kg

#### 石川県産



千円/60kg

#### 福井県産



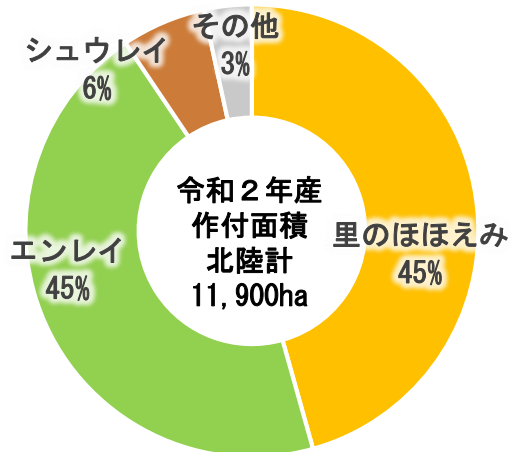
注：全国平均は、全品種の平均価格。各県産の落札平均価格は、普通大豆（大粒・中粒）・特定加工用大豆（大粒・中粒）の落札価格の加重平均により算出。

資料：（公財）日本特産農産物協会入札取引結果より

# 7. 大豆品種別の作付状況（北陸地域）

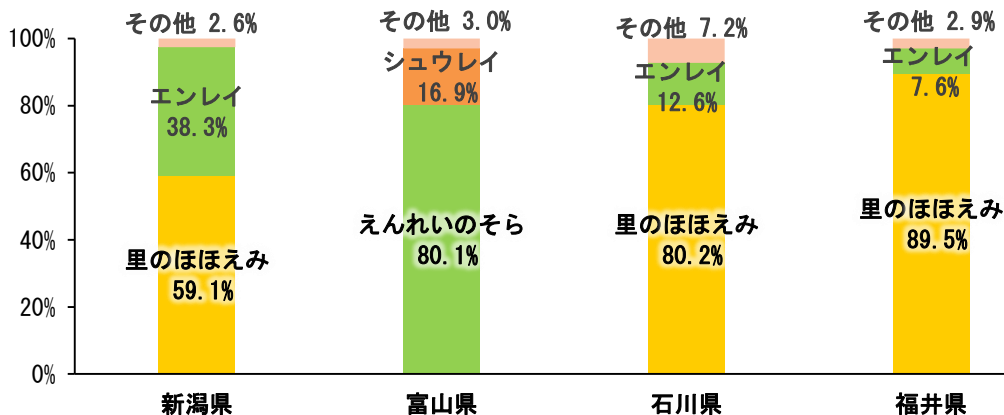
- 北陸地域における令和2年産の大豆品種別の作付状況を見ると「エンレイ」及び大豆新品種「里のほほえみ」がほぼ占めている。これは、新潟県、石川県、福井県において「エンレイ」から大豆新品種「里のほほえみ」への作付転換が進んでいることによる。
- また、富山県では令和2年産から「エンレイ」に難裂夾性を導入した大豆新品種「えんれいのそら」への全面切り替えを実施。

◆北陸地域における大豆作付品種（令和2年産）



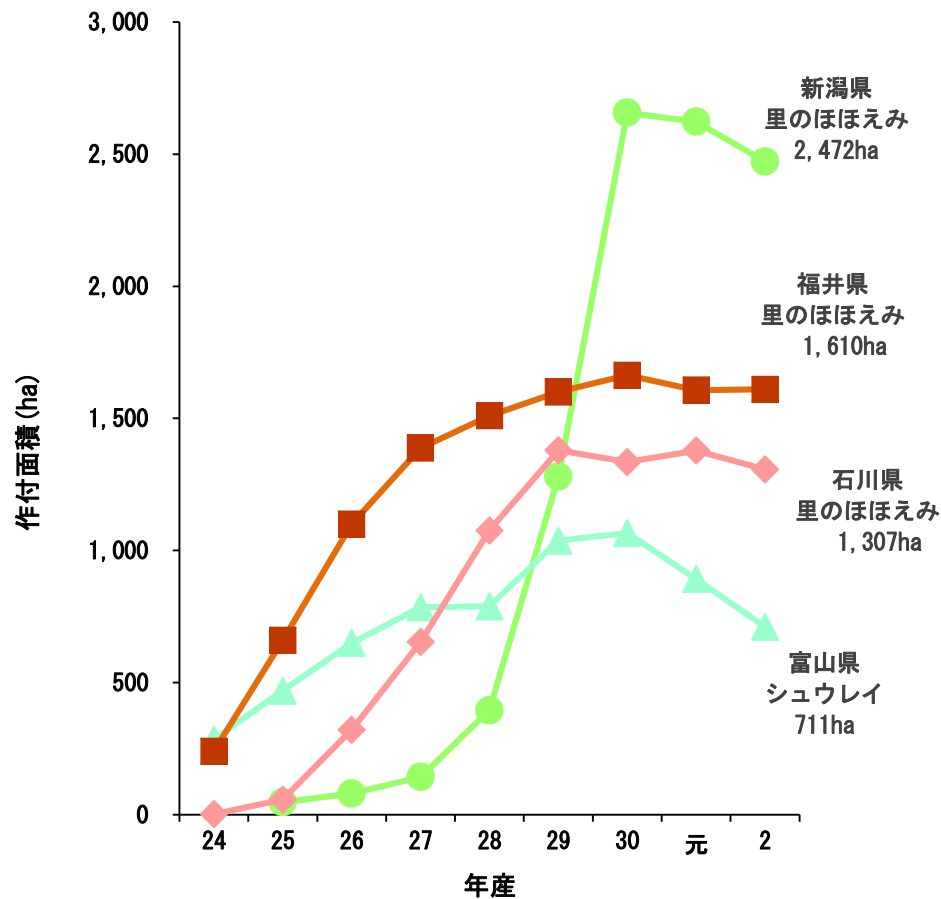
資料：北陸農政局調べ

◆北陸各県の大豆品種ごとの作付割合（令和2年産）



資料：北陸農政局調べ

◆北陸各県の新品種の導入状況



資料：平成24～25年産 政策統括官付穀物課調べ  
平成26～令和2年産 北陸農政局調べ



# (参考) 北陸地域の大豆の主要産地 (R3年産)

